

# オノマトペと音響特性の対応関係：学術文献レビュー

音象徵研究は過去10年で飛躍的に







音韻特徴	音響的基盤	意味的関連	例
/b/初頭	低周波有声成分	重さ、大きさ、鈍さ	ボコボコ、バタバタ
/k/初頭	急峻なバースト	硬さ、鋭さ、突然性	カチカチ、キラキラ
/g/初頭	有声+バースト	重さ、粗さ、強度	ゴロゴロ、ガタガタ
/s/初頭	高周波摩擦雜音	滑らかさ、流動性	サラサラ、スルスル
/z/初頭	有声摩擦雜音	粗さ、振動感	ザラザラ、ジリジリ
高母音 /i/	F2 ≈ 2300 Hz	小ささ、細さ、高さ	チビチビ、ピリピリ
低母音 /a/	F2 ≈ 1300 Hz	大きさ、開放感	パアパア、ガバガバ
促音 (っ)	急峻な時間構造	急速さ、瞬間性	パッ、ドッ
長音 (ー)	持続時間延長	継続性	